

授業科目

こどもの世界

担当教員名 永井 洋一	対象学年	1	対象学科	全学科
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

本講義ではこどものトータルな発達について、神経系を中心として身体・心理・遊び等の観点から紹介し、自分の発達の足跡を振り返るとともに、最近話題になることの多い発達障がい、児童虐待、いじめ等のトピックについて扱い、こどもの世界について考える手がかりを提供する。

授業の目的

子どもの神経系、認知、遊びの発達について理解するとともに、発達障がい、児童虐待、いじめ等のトピックスについて自分なりの意見を持つことができる。

学習目標

1. 発達とはどういう現象であるか説明できる。
2. 中枢神経系の発達の概略について、胎児期から成人に至るまでの概略を説明できる。
3. 感覚・知覚・認知機能の発達について、乳児期から思春期頃までの概略を説明できる。
4. 遊びの発達について乳児期から6歳頃までの特徴を説明できる。
5. 発達障がい（学習障害、注意欠如／多動性障害、自閉症スペクトラム）のあるこどもの生活や必要な支援について説明できる。
6. 児童虐待の原因・実態などについて説明でき、早期発見や予防について対応策を考えることができる。
7. いじめの実態について説明でき、対応策について考えることができる。
8. 理想の子育てについてグループで検討し、発表することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	人間発達総論～あなたはどのように発達してきたか？	講義	永井 洋一
2	脳の発達～胎児は知っている？	講義	永井 洋一
3	感覚・知覚・認知の発達～頭のよさとは？	講義	永井 洋一
4	遊びの発達～なぜヒトは遊ぶのか？	講義	永井 洋一
5	発達障がいを学ぶ～「正常」との間に線引きはできるか？	講義・実技	永井 洋一
6	児童虐待～実態はどうなっているの？	講義	永井 洋一
7	いじめ～いじめはなぜ起きるのか？止めることはできないのか？	講義	永井 洋一
8	理想の子育てとは？～こんな子どもを育てたいが、現実はどうだろう？	講義・グループ討議	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	特に指定しない。毎回資料を配付する。					
参考書	人間発達学～ヒトはどう育つのか	竹下研三	中央法規	2009年	2,600円＋税	
その他の資料	授業で使用する資料集については、後日連絡する。					

評価方法

授業への積極的参加（ミニット・ペーパーへの質問や感想の記入、グループ討議への参加など）：30%程度、期末試験：70%程度

履修上の留意点

1. 授業中の私語は固くお断りします。他の学生の学ぶ権利を妨げてはいけません。
2. 8回の授業のうち正当な理由なく3回以上欠席すると、期末試験の受験資格を失います。正当な理由とは：医療機関の受診（証明となるものを伴う）、交通機関の混乱、部活動による公欠（顧問の捺印した欠席届を伴う）等。
3. 第1回目を除き、授業資料は原則としてポータルサイト経由で配布しますので、各自パソコンにダウンロードしたりプリントアウトするなどして持参して下さい。どうしても印刷ができない場合は予め下記のアドレスに学籍番号と氏名を明記して「資料印刷希望」と連絡をもらえば、当日配布します。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：原則として毎日昼休み後半（12：30～13：00）
 研究室：第2講義棟3階Q307
 メールアドレス：nagai@nuhw.ac.jp